

防 災 研 修 会

～長野県小谷村の災害に学ぶ～

日 時： 平成9年2月10日（月）

会 場： アピオ甲府

主 催： （社）山梨県建設業協会

協 賛： 建設業労働災害防止協会山梨県支部
（社）山梨県建設産業団体連合会
山梨県土木施工管理技士会

後 援： 山梨県土木部

研 修： （1）テーマ「山梨県の公共事業について」
講 師 山梨県土木部長 瀬尾克美氏

（2）テーマ「土石流とその対策」
講 師（財）砂防地すべり技術センター
砂防・環境部 技術課長 松浦和樹氏

（3）テーマ「県内の労働災害の問題点と対策」
講 師 山梨労働基準局 安全衛生課長 芝田正人氏

KUOPKA NEWS

万一に備えて防災研修会を開催 長野県の土石流災害を教訓に

建設業協会主催による防災研修会が甲府市内のイベントホールで開催された。長野県小谷村（おたりむら）の災害に学ぶと題された研修会には建設業関係者ら六百五十名が出席。痛ましい

惨禍となった長野県小谷村の土石流災害などの事例を参考に、災害時の対策や労働災害の防止などについて講演を行った。

講師には山梨県土木部長瀬尾克美氏、(財)砂防地すべり技術センター砂防環境部技術課長の松村和樹氏、山梨労働基準局安全衛生課長の芝田正人氏を招聘した。

講演に先立ち挨拶に立った桑原建設業協会会長は「建設業に携わる者は、安全を念頭に品質の良いものを供給する施工者として努力しなければならない。貴い人命が奪われた小谷村の土石流災害は、渇水期には発生しないという定説を覆した。彼の地の地形は本県と非常に類似している。このような貴重な体験を自家薬籠中のものとして学ばなければならぬ」と挨拶した。まず、講演では瀬尾土木部長が「山梨県の公共事業について」と題して講演。各指標による県勢をベースに本県の社会資本整



備の現況について分かりやすく解説。特に山梨県の災害危険性については小谷村同様の土石流危険渓流だけで一、四二八溪流、地すべり危険箇所一八五箇所、それらによる被害予想戸数五〇、二一九戸などといった興味深いデータを披瀝。また、今後芽出しとして立ち上がる中部横断自動車道の概要などについても言及した。

二人目の講師として立った砂防・地すべり技術センターの松村氏は、土石



流の発生のプロセスや形態的特徴などについて説明した。実際に発生した現地の

様子などを中心に、特に発生の予知の方法などに触れた。ワイヤセンサーや振動による検知のシステム、また音響や光による検知の方法など、様々な土石流予知の観測システムについて興味を引く内容となった。

山梨労働基準局の芝田氏は、県内における労働災害の問題点と対策についてと題した講演を行った。県内における労働災害の現状について説明。建設業の労働災害防止のノウハウや小谷村土石流災害に関する山梨労働基準局の緊急の取り組みなどについて言及。また、基準局の取り組みについて土砂崩壊等災害が発生する恐れのある現場に対して安全管理対策要綱を作成し、普及徹底を呼びかけているなど業界の協力を求めた。